

無線LANの導入はArubaとJuniper EXシリーズで！

近年スマートフォンやタブレット端末の普及により、企業内への無線LANの導入が急務ですが、この無線LAN機器を収容するためにはスイッチが必要になります。

日立ソリューションズでは、無線LANではAruba、その接続スイッチとしてJuniper EXシリーズをおすすめしております。

無線LANならArubaにおまかせ！

- 強固なセキュリティ**

 - ・ 端末～中央間が完全に暗号化 認証とアクセス制御
- 既存ネットワーク機器への変更作業の軽減（オーバレイコンセプト）**

 - ・ アクセスポイントとコントローラ間をトンネル技術で接続する事で既存ネットワーク機器への影響を低減し導入する事が可能
- 高速&安定性を備える**

 - ・ 有線並みの性能・実用性、有線を超える経済性
- 小型軽量のAP（アクセスポイント）**

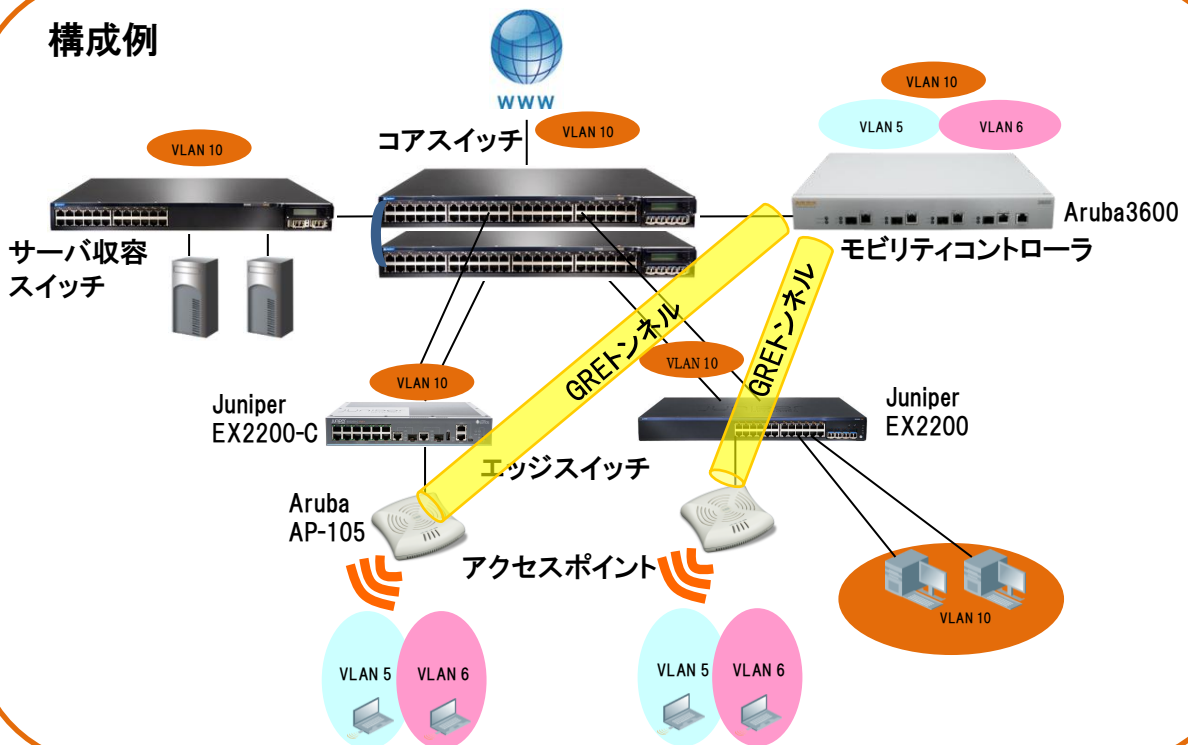
 - ・ ネジだけで天井設置も可能
- 大規模で差がでる運用性（Aruba ARM : Adaptive Radio Management）**

 - ・ 個別APの設定不要 中央で一括制御
 - ・ 電波の強度やチャンネルの自動調整機能



IEEE802.11n
対応で高速！

構成例





給電方法は電源アダプタ、PoE (Portから接続機器へ電力を給電する機能)等がありますが、電源工事を伴わないPoE方式が主流です。以下にAruba製品の消費電力を記載します。

型名	対応無線規格	最大消費電力	対応規格	給電用ポート数
AP-105	IEEE 802.11an/gn	12.5W	IEEE 802.3af (PoE)	1
AP-93	IEEE 802.11an or gn	10W	IEEE 802.3af	1
AP-92	IEEE 802.11an or gn	10W	IEEE 802.3af	1
AP-68	IEEE 802.11gn	8W	IEEE 802.3af	1
AP-125	IEEE 802.11an/gn	16W		
AP-124	IEEE 802.11an/gn	15W	IEEE 802.3af	2
AP-135	IEEE 802.11an/gn	15W	IEEE 802.3at (PoE+)	
AP-134	IEEE 802.11an/gn	15W		
AP-175P※	IEEE 802.11an/gn	18W	IEEE 802.3at	1

※AP-175Pは、PoE給電のみ対応可能製品であり、AC/DCアダプタによる給電はできません

PoE方式で給電する場合、接続するスイッチはどれを選べばいいの？

無線LAN機器を接続するスイッチには、PoE対応及び無線通信速度150~600Mbps発揮可能のIEEE802.11nを生かすギガビットイーサネット (GbE) 対応が求められます。

縦置可能 GbE コンパクトなファンレスPoEスイッチ

こんな要望にお答えします！

- スタティックルート、RIPで運用したい
- ダウンリンクで12ポートGbEが欲しい
- 別途アップリンク用2ポートも必要



JUNIPER
NETWORKS



EX2200-C-12P

PoE+(30W)対応、装置最大供給電力100W

ラック収容の24~48GbEポート PoEスイッチ

こんな要望にお答えします！

- スタティックルート、RIPで運用したい
- 最大48ポートPoEのGbEが欲しい
- 別途アップリンク用4ポートも必要



JUNIPER
NETWORKS



EX2200-24P、EX2200-48P

PoE+(30W)対応、装置最大供給電力405W

※ Juniper EXシリーズには、ほかにもPoE対応機種がございます。

日立ソリューションズはAruba機器とJuniper EXシリーズの相互接続性を検証済みです。

株式会社 日立ソリューションズ

【営業統括本部】

〒108-8250 東京都港区港南2-18-1 (JR品川イーストビル)
 〒451-6028 愛知県名古屋市中区牛島町6-1 (名古屋ルーセントタワー)
 〒556-0011 大阪府大阪市浪速区難波中2-10-70 (パークスタワー)
 E-mail: aruba@hitachi-solutions.com

Tel.03 (6718) 5771
 Tel.052 (569) 2175
 Tel.06 (6647) 9407

お問合せ